

地域交流でふれあい

思いやり育む

— 庄内保育所 —

庄内保育所では、年間を通して「ケアハウスかずき」や「老人ホーム玉真園」の方と交流をしています。

保育所から訪問するときは、子どもたちの普段の踊りや、発表会での踊りを見てもらい、おじいさんやおばあさんたちの膝に抱かれて、手遊びなどを一緒に楽しみます。

施設の運動会では、子どもたちも各チームのメンバーとして、一緒に競技をしました。

また、保育所の運動会や発表会などの行事を見にきてもらい、クリスマス



▲巻いて！巻いて！！トイレットペーパー芯巻きリレー（玉真園運動会）



▲一緒にふれあい手遊び（ケアハウスかずき敬老会）

マスには、サンタクロースに扮した玉真園のおじいさんから、クリスマスリースやまつぼっくりのクリスマスツリーなど、手作りのプレゼントをいただきました。

ほかに、人権交流センターの識字学級や書道教室で学んでおられる方や、地域の老人クラブの方も保育所にお招きし、「ちまき作り」「もちつき」「鳥追い」などの伝統行事や遊びを教えていただいています。

どの交流も、子どもたちや地域の方々の顔が生き生きとして、とても楽しそうです。特におじいさんやおばあさんからは「子どもたちから元気をもらいますわ」と喜びの声。子どもたちにとっても、相手の気持ちを理解し、思いやりの気持ちを育む良い機会になっています。

今後も地域の方々との交流を深めていきたいと思えます。

芋を育てて こんにやく作り



～大山小体験活動～



▲大きな芋の調理に挑戦

た。子どもたちは、芋を掘り当てては大喜び。石など芋以外のものが出てくると大笑いしながら、天候を気にすることなく、約60人が楽しい体験をしました。

こんにやく作りでは、初めての作業のため、参加した保護者も子どもも真剣そのもので、唐辛子を練り込んだこんにやくも作りました。

植え付けからこんにやくにするまでの流れを体験することで、地元の特産品づくりにふれ、また一つの食物について知識を深めることができました。貴重な体験となりました。



▲芋をミキサーにかけてこんにやくを作るの知ってた？

大山小では、毎年PTAとそのOBによる体験活動が行われています。今年も、香取地区でこんにやく芋を栽培しておられるOBの方の発案で、大山こんにやく芋生産部の協力を得て、こんにやく作り体験を行いました。

5月、雨の中での畑作りの説明から始まり、芋の植え付けも雨降り。参加者はカッパを着て、黙々と作業を行いました。そして育成の途中には畑の草取りを行いながら、芋が育つのを待ちました。

いよいよ11月、収穫と調理をする日を迎えました。この日も小雨の天候。それでも収穫の期待と、こんにやく作りを楽しみに畑へ出かけまし